

門徒総代会全道大会

多くのご参加有難うございました



第242号

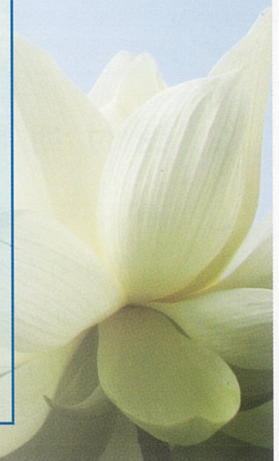
発行所
札幌市中央区北3条西19丁目
(郵便番号 060-0003)
北海道教区教務所
電話 011-611-9623
編集 北海道教区教務所
発行人 中尾了信

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年についてのご消息披露 総局巡回

〈2019(令和元)年度「公聴会」併催〉

9月25日(水) 13時より

会場: 本願寺札幌別院



「平成30年北海道胆振東部地震義援金」

ご芳名 (敬称略・順不同 4月1日～8月31日)

昨年10月5日よりお願いいたしました、「平成30年北海道胆振東部地震義援金」につきまして、多くのご協力をいただいておりますこと御礼申し上げます、ご報告いたします。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

鹿兒島別院西田出張所

佐賀教区佐賀組

北海道教区上川南組

北海道教区空知北組教證寺護持会

北海道教区空知北組教證寺仏教婦人会

北海道教区空知北組教證寺山兒憲明

平谷一夫

東京教区仏教婦人会連盟

札幌組仏教壮年会連盟

福井訓子

北海道教区上川南組法城寺

佐賀教区神崎組眞光寺募金者一同

福岡教区嘉麻組親和会

福岡教区嘉麻組

滋賀教区門推協

富山教区富山南組圓照寺門信徒一同

沖縄県宗務事務所

本願寺帯広別院

福岡教区福岡組萬行寺

北見西組仏教婦人研修大会

北海道教区空知南組西本寺

佐賀教区仏教婦人会連盟

後志組総代会・仏壮・仏婦・仏青合同研修会

北見西組仏教壮年研修大会

山口教区周南組仏教婦人連盟

天寧寺あゆみ会

北海道教区寺族婦人会連盟

円満寺仏婦キッチン

宗派たすけあい運動募金

千正寺キッズサンガ

北見西組寺族婦人会

札幌別院義援金箱

日高組崇徳寺仏教婦人会

大道修

空知北組仏教婦人会連盟

北海道教区教務所義援金箱

札幌別院義援金箱

延べ数

400個人・団体

合計金額

24,781,134円

(2018年10月5日～
2019年8月31日)

1. 受付口座番号 郵便振替 02790 - 6 - 103182

口座名称 北海道教区教務所

※通信欄に必ず「平成30年北海道胆振東部地震義援金」とご記入ください。

2. 受付期間 2018 (平成30) 年10月5日(金) から2019年12月31日まで

3. 備考

- ・お預かりしました義援金の配分については、後日「北海道教区災害対策委員会」にて決定の上、被災寺院へお渡しし教区時報等で報告をいたします。
- ・必ず寄付者のお名前をお書き下さい。
- ・青色の振込用紙(手数料をご負担下さい)にてお振り込み下さい。

**「重点プロジェクト」
貧困対策推進のための
学習会**

去る4月25日(木) 教化センター札幌別院にて、「貧困対策推進のための学習会」を開催いたしました。

この学習会は、宗派重点プロジェクトの『貧困の克服に向けて～Dana for world peace～』子どもたちを育むために』を推進していくにあたり、貧困の現状について学ぶために開催したもので、45名の参加をいただきました。講師には飯田昭人さん(北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科准教授)、二本松一将さん(札幌市児童相談員)をお迎えし、最後にパネルディスカッションを行いました。

【講義① 飯田昭人さん】

○「貧困」とは…経済的に「貧しい」だけでなく、それにより「困」っている状況であるという。多様に困っている状態がある。「聞くことが大事」がある。「相対的貧困」とは世帯の所得が、中央値の半分に満たない状態のことです。「しんぐるま

ざあずふおーらむ北海道」の資料によると【世界でも日本、日本でも北海道が貧困率が高い】

○母親と子どもの家庭…貧困率66%。経済的な苦痛よりも、離婚したことで「あなたが悪いのでは」と世間からの中傷とも闘わねばならない。

○貧困状態にあると・・・

- ・支払いができないため、病院を受診できない、しない。
- ・2つ以上の仕事を掛け持ちしている場合が多く、子どもは家事をしている場合が多い⇨勉強できない。
- ・携帯を持つ理由は「子どもにとっては、「誰かにつながっている」証明である。
- ・給食がないと痩せてしまう。

○「法律」によって対策することは条文に明記されている。

○貧困の世代間連鎖

叩かれて育った親は、その数%は「叩いて育てる方法しか考えられなかった」追い込まれている状態か。大方は「しない」⇨環境に恵まれている。環境によって人は変わるのだ。

- 様々な制度を知る
- ・「生活保護制度」「子ども食堂」「学校プラットフォーム化」など 市町村、学校の取り組みとしてある。いじめを含めて、もはや学校だけの取り組み(対応)でないと言ふこと。
- 子どもの立場からすると「いじめを言っても大人がうまく対応したのを見たことがない」。
- 相談されたときに話を聞いて、これらの制度を伝えたり、相談された側が相談する先を知っているだけでもいい。
- 生活保護受給者の不正取得者の問題がメディアでも取り上げられるが、そういう情報を真に受けて、一般化して良いのか?現在の調査では不正受給者は0.5%確かにいるが。
- 「ワーク」貧困の体験
- ・一定金額でリアルに月の生活費を考えるワークを行った。
- ・この金額で生活しなければいけない人がいると言ふこと⇨現実・頭で貧困を理解しようとしても難しいと言ふこと。実際の金額を考へてみることで、その生活を想像し、体感すること。
- 「貧困」という状況が、誰に何をもたらすのか?
- ①親責任論、でよいのか?
- ②子どもへの影響
- ③支援を受ける人、受けざるを得ない人々の心情を慮る。
- ・偏見、烙印⇨レッテル張り

- ④子どもの年齢に影響を与える。
- 私たちができること
- ①制服、備品等のリサイクル
- ②受けとめる、ということ

●まとめ

- ・ファーストプレイス⇨家庭
- ・セカンドプレイス⇨職場、学校
- ・サードプレイス⇨地域社会(子ども食堂、学習支援、お寺など)

サードプレイスとしてお寺を地域の方々と協力して解放できないか。

【講義② 二本松一将さん】

●今日伝えたいこと

- ①「困ったときに困った」と言える場所やつながりがほしい。
- ②応答性のある関係を心がける。「子どもにオーダーする自分」と「子どものリクエストに応えてない自分」に気づく。
- ③子どもや親の生活時間に合わせた取り組みをすること。
- ④「予防」的な活動は結果が見えにくい。地道な取り組みだと言ふこと。
- 自らの家庭経験を説明
- ・「虐待」と言える環境の中で育ったがそれが当たり前だと思っており、また誰に言うことも出来ずにいた。
- ・北海道に大学進学と共に移転す

飯田さん

- ・キリスト教の教会で「ねっこぼつこのいえ」を主宰している小林真弓さんという方がいることが出来ない。それらのひとの「夜の居場所」としてほっと出来る場所だった。これはお寺でもできるのではないか。
- ・社会的信頼のある団体としてお寺は、色々とできることがあるはず。
- ・「自立援助補助」という観点で。

二本松さん

- ・私はお寺の広さが好きだ。走り回れるから。
- ・書き初めの宿題解決に集まってもらってはどうか。

参加者質疑・意見

- 食材は提供された物で足りるのか。
- ↓永江さん
 - ・足りない物は買う。しかし、1万5千円程度でおさまっている。
 - 住職はいろいろな人を知っている、という点から照会に用いてもらっても良い。

【最後に参集者にメッセージ】

永江さん

「子ども・若者ご縁づくり」が大事である。そこに「子ども食堂」は大きな存在だ。

二本松さん

静聴していただいた事に感謝する。「子ども食堂」は万能薬ではないが、そこに集い人の物語が生まれる。

飯田さん

若い方5名に、何を悩んでもらっているかのフォーラムをしたことがあった。その縁で今日があった。

- ・フェイスブックなどで、つながりの幅を広げて行けたらと思う。
- ・「地域が輝く」ということ、多様性を認め合うこと、いろいろな課題はすべてお寺が関わることでよって、進めていけるのではないかと思っている。
- ・私の事例などであれば、どこにでも話しに行きます。

◆ 閉会式

(亀井副委員長挨拶)

宗派「重点プロジェクト」が打ち上げられ、大きく重い課題が突きつけられたわけだが、そもそも貧困についての知識があまりにもなさすぎた。

二本松さんの「言いにくい」話を聞くことこそ大事なことだった。

「貧困は近くにない」という声を多く聞くが、行政等と相談して、まずは「知る」ために、各組でも研修会をしていただきたい。



子どもたちの笑顔のために Dāna for World Peace

日本では子どもの「7人に1人」が貧困によって苦しんでいます

世界では、「10人に1人」が貧困によって命の危機に瀕しています

すべての子どもの笑顔のためにあなたの想いを届けます

「子どもたちの笑顔のために募金」のプロセス

10人に1人が貧困に陥る

5人に1人の割合ですべての子どもが命を失っています

1人につき5.6秒

あなたの想いを届けてください

寄付先：西本願寺 支援先

募金管理委員会

「子どもたちの笑顔のために募金」ご協力をお願いします

宗派では、「子どもたちの笑顔のために募金」を集めております。

まずはじめの一步として、法要や研修会などの際にご協力くださいますようお願い申し上げます。

「子どもたちの笑顔のために募金」ご協力をお願いします

宗派では、「子どもたちの笑顔のために募金」を集めております。

まずはじめの一步として、法要や研修会などの際にご協力くださいますようお願い申し上げます。

あなたの想いを届けてください

「子どもたちの笑顔のために募金」ご協力をお願いします

西本願寺 支援先

募金管理委員会

北海道教区門徒総代会 初の全道大会開催

去る、6月20日(木)、前門さまご臨席のもと、初の【門徒総代会全道大会】を教化センター札幌別院で開催しました。大会テーマは「自ら聞法に励む総代となるう」として、430名を超える総代さんにご参加いただきました。

開会式は常任幹事の谷口達哉さん(宗谷組西光寺)の司会のもと、まず向井弘吉さん(函館組最尊寺)、中野芳宣さん(上川南組弘誓寺)、磯部敏雄さん(十勝組義教寺)の3名で調声をしていただきました。讃仏掲のおつとめをしました。その後、両川武弘会長(胆振組法城寺)より「先般、ご門主さまから、ご親教『念仏者の生き方』の肝要を4力条

にまとめた『私たちのちかい』をお示しいただきました。時代の変化が厳しい今こそ、次代を担う子ども・若者た



ちのために、自分だけを大切にすることなく、人と喜びや悲しみを分かち合うことの大切さを伝えなければならぬ。門徒総代として今こそ将来を見据え、積極的に活動を。また門徒総代式章を掛けて率先して聴聞の場に座り、模範となる姿を示していきましよう」と挨拶がありました。

次に前門さまがお言葉を述べられ、「門徒総代という寺院の運営ということがまず浮かんできませんが、その中で仏法聴聞、み教えを聞くということは素晴らしいことです。聞法は、阿弥陀さまのおころをいただくこと。『南無阿弥陀仏』をいただくことであり、その素晴らしさがわが身にはたらき、私を支え、導いてくださいます。格差社会といわれる厳しい現代にこそ、阿弥陀さまの真実

のおころをいただきたい。生きていくことの素晴らしさ、大切さを、多くの方と分かち合っていかなければと思ってい

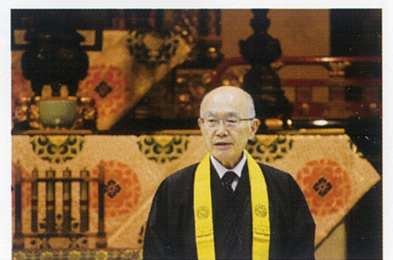


ます。皆さま方にはお寺の中心となつて、ご住職と共に歩んでくださることを願っています。」と話されました。

開会式後、門徒総代会の総会を行い、予決算や昨年度の報告を行いました。

記念講演は行信教校長の天岸浄圓先生に大会テーマについてご講演いただきました。浄土真宗の門徒としてみ教えをいただくことの意義を問いかけるとともに、阿弥陀さまを敬い、依りどころとして生きることの有り難さ、尊さをお話しいただきました。

講演後には札幌パークホテルにてレセプションが開かれた。札幌交響楽団より大平まゆみさんをはじめとする五重奏の



演奏など聞きながら親睦を深めました。

最後の挨拶では、竹田和雄さん(札幌組勝圓寺)が「お寺の総代長を約30年務めている。2年前には壮年会を立ち上げ活動しているが、お寺の活性化のためにはやはり門徒一人一人が自らそういう気持ちにならないといけない」と語り、散会となりました。

北海道教区は広域のため、これまで3ブロックに分かれてそれぞれ研修会を開催してきましたが、常任幹事から「ブロックを超えての交流も必要だ」という意見により4年に1回の全道大会を開催していきます。

両川会長が「時代の変化が厳しい今こそ、次代を担う子ども・若者たちのために、自分だけを大切にするだけでなく、人と喜びや悲しみを分かち合うことの大切さを伝えなければならぬ。」とご挨拶していただいたように、総代を中心として、各寺院が盛り上がりつついく事を確認できた大会となりました。



2018(平成30)年度北海道教区教学伝道顕彰・奨励 報告

3月29日教学伝道顕彰・奨励審議委員会を開催し、協議の結果4件の申請に対しまして、2件の個人、団体に対しまして顕彰状並びに奨励金をお渡しすることとなりましたためご報告いたします。

尚、これらの顕彰・奨励につきましては、申請に基づき委員会を開催し交付させていただきますので、ぜひご推薦ください。

(1) 殿平 善彦 さん【顕彰】

理由：強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム共同代表を長年に亘り務め、強制連行・強制労働犠牲者の遺骨返還に取り組んでおり、その活動は顕著であるため。

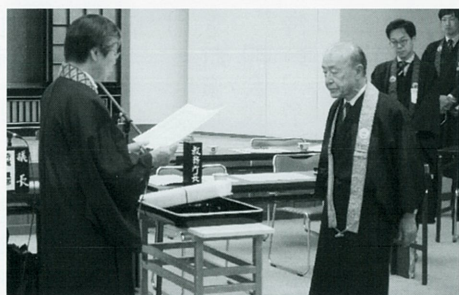
業績：2003年 強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム共同代表
2004年 韓国政府日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会海外諮問委員
2016年 龍谷特別賞、韓国外交部長賞、宗派褒章

(2) 空知南組善行寺合唱団(団体)【奨励金】

理由：仏教讃歌等を通じ、阿弥陀如来のお心にふれ、団員同士の親睦を深め、寺院の護持発展の気運を高める。コンサートを通じ、今までお寺参りをあまりしたことがなかった方や、地域の皆様に合唱を通じての伝道活動を行うため。

業績：毎月1～2回の練習。

10, 15, 17周年コンサートの実施。2018年10月に20周年コンサートを実施
報恩講での音楽法要実施、並びにミニコンサートを行っている。



教区会で交付させていただきました。

(善行寺様は法務のため出席できませんでしたので、後日お渡しさせていただきました。)

教化団体報告

【少年連盟】

去る、6月11日(火)後志組東林寺にて第52回少年指導者研修会を参加者36名にて開催しました。

研修①では、「ぶっちゃけ寺」等にも出演されていた山口教区防府組超勝寺住職大來尚順さんに「身近な仏教く何気なく使っている日本語を振り返る」と題して講演いただきました。大來先生は龍谷大学在学中は伝道部に所属しており、その後海外へ留学した際に英会話の本などで学んだ英語とネイティブの英語がかけ離れていることに気づき、日本語の意味を考え、そのほとんどが仏教語であったり仏教の精神からできた言葉であることを学ばれて、現在仕事として翻訳や通訳を行っているとのことでした。

・「諸行無常」は日本だと寂しい言葉のように捉えられるが、英語で言う「Everything is change (すべて変わっていく)」だが、Everythingに「私」を含まない人が多いので、Everything including myself is change (私を含むすべてのものは変わっていく)と私は伝えて

いる

・「いただきます」

I'm sorry for taking my life
and appreciate receiving your
life

命をいただいていることにまず、
慚愧を行い、その感謝を述べてい
く。「頂きます」は山のてっぺん
しかし、食べ物や食事をいただくとき
私たちの頭の上に食事はなく必ず
下(胸の前ぐらい)にある。だか
ら頭を下げてその食べ物を頭の上
(頂)にする行為となる。

これら以外にも、「いつてきま
す」「つまらないもんですが」
「すみません」など、普段使つて
いる言葉について講義いただいた
が、普段使っている言葉ほど意味
を考えずに使ってしまう私たちが
いることに気が付かされました。

次に「小樽のおもちゃ屋キン
ダーリープ」の店長の杉本英樹さ
んにお話しいただきました。

実際におもちゃを用いながらお
話をいただきましたが、参加者が
夢中になるゲームばかりでした。

杉本さんは「キャラクターのお
もちゃは子どもは喜ぶが、パズル
やお手玉などシンプルなおもちゃ
は子どもの発達とともに遊ぶこと
ができ、学ぶことができる。そし
て、小さいころに遊びで身につい

て物は、大人になっても忘れない。
また、科学を用いたおもちゃもた
くさんあるが、遊びの先にそれら
に興味を持つこととなるのではな
いか。」とお話しいただいた。

今回は、言葉と動きの研修会で
した。それぞれが身近なものであ
り、身近すぎるがゆえに考えてな
かったことを再認識していく研修
会でした。子どもと接する上で、
言葉の大切さや遊びの重要性。少
年教化には両方大切なものであり、
それを体現していく指導者として
大変有意義な研修会となりました。



【仏青連盟】

去る、6月29日(土)、30日

(日)に築地本願寺にて第1連区

仏教青年連盟研修会が開催されま
した。今回は、築地ナイトツアー
として『謎解き脱出ゲーム×築地
本願寺×天才建築家伊藤忠太から
の挑戦状』に参加しました。講

師の佐藤慶樹さん(福岡教区上下
組万徳寺衆徒)はTOY×ポーズ
という、脱出ゲーム制作会社を立
ち上げた方で、仏教を中心にした
脱出ゲームを作っています。次々
に来る謎と最後のどんでん返しに
参加者一同楽しんで、築地本願寺
の歴史を学ばせていただきました。

次の日には、連絡協議会があり
各教区の青年会の実情について協
議を行いました。各教区盛んな寺
院をもとに活動を展開していたり、
教区行事に来ていただいたりとし
ているようです。協議会の最後
には指導講師であり、子ども・若者
ご縁づくり宗派マネージャーでも
ある南荘撰さん(東京教区静岡西
組教覚寺副住職)より「現在宗派
では子ども・若者ご縁づくりを推
進しているが、ご縁ができた青年
層の方々の受け皿は仏青しかない。
その方々が仏青に来てもらえるよ
うに教区内の方々にもお声がけい
ただきたい」と締めくくられ、終
了いたしました。

北海道教区では11月23日(土)

24日(日)に函館別院にて全道大会

を行います。皆様のご縁のある青
年層の方々へ参加奨励をお願い
いたします。

【仏壯連盟】

去る、4月27日(土)教化セン
ター札幌別院にて、総会・研修会
を参加者39名で開催いたしました。

この度は、胆振東部地震の被災
寺院の住職である佐々木学嗣さん
(胆振組安立寺住職)にお話をいた
だいた。

佐々木さんはまず「この話を聞
きながら何ができるかをイメージ
しながら聞いてください」とおつ
しやり、写真を提示されながら話
を進められました。

・地震で本堂・庫裏に被害が出た
事に合わせ、土砂災害指定域と
なり、避難所、車での生活を強
いられることとなった。常にお
寺にすることができず、支援物
資など多く届いても配りづらい
状況があった。また、入寺して
間もないので地域とのつながり
が薄く、SNSを多用できない
ことが歯がゆかった。

・総代さんが会議を開くといつて
くださったり、ボランティアの方
ではなく門徒中心に片づけ
を進めていこうと力強くおつ
しゃつてくださったので、有難

かった。

・震度1でも不安になる日々が続いた。1週間経ち、たまたま人が来ない日があり、不安と向き合わざる得なくなり苦しい日もあった。きれいな夕日もきれいな見えない日もあった。次の日から様子を見がてら月参りを始めた。

・地震をきっかけにお寺に来られる方も増えた。思うところがあつたのかもしれない。

・お墓の耐震なども今回の地震で学ばせていただいた。

・地域とのつながりを見ていくときに壮年会の方々がいればなと思つた。仏壮はどんな時でもお寺の中心となつていく。普段の活動に合わせて、災害時のことも考えていただきたい。

と、お話しいただいた。研修会終了後、壮年会の方々は「改めて災害時の対応など住職と相談しよう」とおっしゃっていました。

2020年5月30日、31日は胆振組で全道大会を予定しております。被災地復興のためにも多くのご参加をお待ちしております。

【仏婦連盟】

去る、5月16日(木)総会並びに寺族婦人会合同研修会を教化セ

ンター札幌別院にて開催いたしました。全体で125名(仏婦80名、寺婦45名)の参加がありました。

この度の研修会は、第31回全道仏婦大会記念講師の谷川弘顕さんを招聘し、「私たちのちかい」を学ぶと題してお話いただきました。

「日本の若い世代の考えとして、現代に対しての思いを『希望がもてない』『日本という国に信頼がない』とアンケートより見受けられた。また、宗教に対しても、宗教アレルギーがあり、それは“押しつけ”であり、“怖いもの”というイメージがあり、あまり関わりたくないものであった。宗教とは本来、人生を歩む上で必要なもので、真宗で言うところの『生死いずべき道』である。しかし、現実として、寺院・僧侶が宗教とはみられていない。その現状の、危機感を踏まえて『私たちのちかい』で、家庭での実践できるものを提示していただいた。

現在の若者は宗教アレルギーではあるが、まったく関心がないわけではなく宗教的要素には関心がある。それは、第三次宗教ブームと言われ、占いや各地のパワースポットに反映されている。本来の宗教からはかけ離れ、“気持ちがいいもの”“楽なもの”が宗

教との認識がある。これらから現代の若者は、『アラヨ世代』と呼ばれ、『ア』は安定、『ラ』は楽、『ヨ』は余裕と表されている。

現代は、『人』は居るが『人間』がないと言われている。それは、『間』がないということ。『間』は、時間・空間・仲間であり共有されるもの。しかし、今はその『間』がなく、間を断ち切っている。それは、仏教でいう『無間地獄』＝孤独である。『私たちのちかい』は、仏さまとは正反対の生き方をしている私であり、そのことを心配しているが故に『ちかい』として表していた。また、『私たちのちかい』を聞くだけではなく、声をもつて意を伝えていくことが大切である。声はその人の面影を通して私に響いてくれるもので、決して私だけ終わらせるのではなく、声を通して身近な方からお伝えしてほしい。」とお話しいただきました。

【ビハーラ】

去る、6月5日(土)に北海道ビハーラの会評議員会を開催いたしました。本年は改選年であり、新たに各組より選出戴きました評議員13名のご出席を戴き開催いたしました。評議員会では、今後の

ビハーラ活動の発展を期する種々ご意見を賜り、審議事項について協議し、了承を得て評議員会を無事終了いたしました。

評議員会後は、北海道消化器科病院部長である田巻知宏さんをお招きし、「ビハーラ講座」を開催しました。講座では「私たちは人生の中でグリーフ(悲嘆)を何度となく経験します。亡くなるというだけじゃなく、大切な人と別れたり、物を失くしたり、愛着のある場所を離れた。その人個人の歴史と将来に関わることです。グリーフを乗り越えるというのではなく、時間と共に受け入れていくようになるものです。」とご自身の活動と経験のお話や、様々な質疑にもユーモアを交えてお答えくださり、参加者にとつて貴重なお時間となりました。

参加者は29名と昨年より若干多くのご参加がありました。毎年開催、案内をしておりますので是非とも皆さまのご参加をお願いいたします。

また、宗派では相手の苦悩に共感し和らげることが出来るビハーラ活動者を養成する「ビハーラ活動者養成研修会」を隔年開催しておりますので、ご興味のある方は、教務所までお問い合わせください。

子ども・若者
ご縁づくりの取組み

空知北組専福寺

萩原慧住職の

取組み

お参り先に、



お子さんがいることがありますよね？そこで、飴玉を持ってお参りするようにはしました。このお盆中は、車中に積んでおけるので飴ではなく飲み物を配布していました。年始参りの時には、お金の形のお菓子をポチ袋に入れて渡すとともに喜んでくれます。

今年のお盆もたくさんのお子さんにお会いでき、何人かにはお給仕・キン打ちも手伝ってもらいました。今後は中高生・若者世代とのきつかけづくりを思案中です。

十勝組立教寺

千葉照映住職の取組み

お寺で法事を勤めた際に、一緒に来たお子さんが「走っちゃダメ！」と注意されているのを見て、子どもが自由に遊べる所があれば、楽しかった思い出になるのでは？と思いキッズスペースを作りました。うちにあった絵本や漫画とお

もちやを置いただけですが、設置以降「また来るね！」と言つてもらえるようになりまして！



2019年度 法式研修会 【基本の仏華】

日時：10月30日(水) 13:00～
講師：水本高史さん(本願寺開明社「花新」社長)
本願寺の仏花をたて続けている開明社の「花新」社長の水本高史さんに、基本となる仏花のたて方をご指導いただきます。

第2回 御堂演奏会

日時：11月6日(水) 13時00分 受付
会場：むかわ四季の館 たんぽぽホール
曲目：1)ひかりあふれて 2)ありがとう 3)のんのさま 4)しんらんさま 5)念仏
仏教讃歌を通して皆様とともにみ教えを味わい、歌の練習を機縁とし、寺院活性につなげて戴き、仏教讃歌による震災支援をいたしましょう。

第11回 北海道教区真宗青年の集い【LIFE～いのちの出会いに感謝～】

期日：11月23日(土)、24日(日) 会場：本願寺 函館別院
講師：永江智明さん(上川南祖 永樂寺 住職)
昨年、青年会の大切な仲間が亡くなりました。私たちは、その経験から身近にいる人の大切さといのちの尊さに気づかされました。夜は函館別院の恒例行事であるボジョレーヌーボー一試飲会にて交流を深めたいと思います。

第2回 若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム【男と女?】

期日：11月26日(火)、27日(水)
講師：小川真理子さん(岐阜教区華陽組等光寺住職)
田中 純さん(にじいろスマイル代表)
ここ数年、性の多様性について世間でクローズアップされるようになり、「LGBTs」等という言葉聞く機会が増えました。また“男性中心社会”について、考えたことはあるでしょうか？

得度許可

(3月以降7月迄寺院番号順)

- 朝山 和彦さん(後 志組 無量寿寺)
- 土井 信條さん(空知南組 鶴林寺)
- 村上 攝さん(空知南組 唯専寺)
- 家郷 行信さん(空知南組 隆王寺)

教師授与

(3月以降7月迄寺院番号順)

- 出倉 和光さん(札幌組 證誓寺)
- 谷口 隆英さん(上川北組 常德寺)
- 宮本 幹士さん(胆 振組 浄願寺)
- 若林 空彌さん(胆 振組 真證寺)
- 福原阿人武さん(十 勝組 俊教寺)

お悔み

(4月以降8月迄寺院番号順)

- 浅野教信さん(札幌組 浄光寺前住職)
- 松村 聡さん(札幌組 花豊寺住職)
- 谷山憲丸さん(後志組 龍溪寺住職)
- 北條勝子さん(後志組 光雲寺前坊守)
- 家郷燐子さん(空知南組 願王寺前坊守)
- 靈山信成さん(空知南組 本向寺前住職)
- 藤沢千代美さん(空知南組 光明寺前坊守)
- 花木行眞さん(上川北組 称真寺衆徒)
- 近藤祐昭さん(留萌組 善勝寺前住職)
- 阿部孝子さん(胆振組 眞正寺前坊守)
- 日笠正順さん(胆振組 本光寺前住職)
- 有坂恵美子さん(胆振組 英寺前坊守)
- 増山俊子さん(十勝組 寿光寺前坊守)
- 松平樹人さん(北見東組 常楽寺前住職)

慶事

住職任命

(3月以降8月迄寺院番号順)

- 石田えり子さん(札幌組 信教寺)
- 打本 宗明さん(札幌組 眞宗寺)
- 名和 康成さん(空知南組 善行寺)
- 朝日 隆道さん(空知北組 光暁寺)
- 迦西 智憲さん(上川北組 西光寺)
- 瑞生さん(留 萌組 明現寺)
- 齋藤 顯也さん(十 勝組 浄永寺)

▼北海日誌

【報告】

- 5月8日 寺婦役員研修会
- 9日 教団連合拡大委員会
- 10日 教区保育連盟 総会
- 13日 北見西組門推連研履修者研修会
- 14日 総代会常任幹事会
上川北組・留萌組・宗谷組サポーター協議会
- 15日 若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム
講師打ち合わせ(京都)
- 16日 仏婦・寺婦総会合同研修会
- 17日 実践運動正副部長会
- 18日 函館組・函館別院サポーター協議会
- 20日 空知北組・上川南組サポーター協議会
- 23日 日高組サポーター協議会
- 26日 北見東組・北見西組サポーター協議会
- 28日 教区布教団 役員会・総会
第一連区(北海道教区)布教使研修会(～29日)
- 29日 少年連盟総会
- 30日 子ども・若者ご縁づくり推進委員会
- 31日 北藤会50周年記念大会
- 6月1日 第1回得度習礼講習会(～2日)
- 3日 若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム
第2回実行部会
- 4日 真宗教団連合研修会
- 5日 ビハープ評議委員会
第1連区少年連盟研修会・協議会(東京～6日)
- 7日 教区実践委 第1回寺院活動支援部会
- 8日 「重点プロジェクト」夏季保養相談会(福島県いわき市ほか)～9日
- 10日 教区実践委 第1回門信徒教化部会

- 11日 第一連区教務所長・教区会議長協議会(築地本願寺～12日)
少年指導者研修会(俣知安)
 - 13日 教区実践委 第1回僧侶研修部会
・巡回講師会
 - 17日 第二期第1回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム研修会(～18日)
 - 20日 教区総代会 全道総代研修会
 - 24日 教区実践委 第1回常任委員会
- 7月
- 3日 教区実践委 第2回社会部会
 - 4日 第1回常備会
 - 6日 重点プロジェクト実行部会
 - 10日 第1回勸学練習所運営委員会
 - 11日 若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム
第3回実行部会
 - 16日 社会を明るくする運動街頭啓発活動
 - 18日 臨時教区会
 - 21日 「重点プロジェクト」夏季保養事業(～27日)
 - 22日 常例総協議会
 - 23日 連研推進協議会
 - 24日 教区実践委第2回常任委員会
 - 25日 組長会・護持口数調整委員会
- 8月
- 2日 門徒総代会常任幹事会
 - 4日 本願寺派スカウトキャンポリー(静岡～7日)
 - 19日 教区実践委 第3回社会部会
 - 23日 幼保立上げのための説明会
 - 26日 第3回重点プロジェクト実行部会
 - 31日 ビハープ講座
- 8月30日～9月1日
「第16回世界仏教婦人会大会」
(サンフランシスコ市)

【予定】

- 9月5日 第2回子ども・若者ご縁づくり推進委員会
 - 12日 若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム
第4回実行部会
 - 13日 実践運動 正副部長会
 - 17日 寺婦正副会議
 - 18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
 - 25日 ご消息披露式典・公聴会
 - 26日 教区実践委第3回常任委員会
 - 28日 まこと保育大学講座
 - 30日 Cブロック僧侶研修プログラム(～1日北見)
 - 10月22日 終活フェア
 - 30日 法式研修会
 - 11月6日 教区実践委「第2回御堂演奏会」
Aブロック僧侶研修プログラム(～13日札幌)
 - 18日 第2回得度習礼講習会
 - 23日 「第11回北海道教区真宗青年の集い」(函館別院～24日)
 - 26日 第二期第2回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム(～27日)
 - 12月6日 札幌龍谷学園高等学校「いのちの授業」
Bブロック僧侶研修プログラム(～12日名寄)
 - 2月26日 「青年布教使研修会」(～27日)
 - 29日 第3回得度習礼講習会(～3月1日)
- ※2019年度 教務所長会 9/18、12/18、3/26

公聴会

期日 2019年9月25日(木)
第1部 御消息披露式典 13:00～13:50
第2部 公聴会 14:00～17:00
会場 教化センター札幌別院本堂

北海道教区常例布教日程(予定)

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(山陰教区・三瓶組・専勝寺)	(備後教区・金盛・徳照)	(安芸教区・那須・智雄)	(北海道教区・八村・幸代)	(山陰教区・千須賀組・永照寺)	(滋賀教区・田中・諱康)	(兵庫教区・高砂組・善行寺)			(久朗津・泰秀)					(安芸教区・平・恭敬)	(北海道教区・石田・智秀)	(大阪教区・西淀川組・養善寺)	(北海道教区・吉川・昭恵)	(1、13、14・札幌組・浄光寺)
	(備後教区・徳照)																	(2、4、11・十勝組・真淨寺)
																		(6日 空知南組・真法寺)
																		(8日 函館組・誓願寺)
																		(函館別院～24日)
																		(第2回御堂演奏会)
																		(～13日札幌)
																		(第2回得度習礼講習会)
																		(「第11回北海道教区真宗青年の集い」)
																		(函館別院～24日)
																		(第二期第2回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム)
																		(～27日)
																		(札幌龍谷学園高等学校「いのちの授業」)
																		(Bブロック僧侶研修プログラム)
																		(～12日名寄)
																		(「青年布教使研修会」)
																		(～27日)
																		(第3回得度習礼講習会)
																		(～3月1日)
																		※2019年度 教務所長会
																		9/18、12/18、3/26

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。